

## ■出演者プロフィール



©N Ikegami

指揮: **秋山和慶** Kazuyoshi Akiyama, *Conductor*

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース響音楽監督を歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、スイス・ロマンダ管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。東響とは、創立45、50、55周年の記念海外ツアーを成功に導いたほか、1994年には第400回定期演奏会を記念したシェンベルクの歌劇「モーゼとアロン」（演奏会形式）を指揮し絶賛された。また日本初演のオペラを取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。ミュゼザ川崎シンフォニーホールチーフ・アドバイザー。

## ■オーケストラ・プロフィール

**東京交響楽団** Tokyo Symphony Orchestra

|                 |                                                                                                                              |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【創 設】           | 1946年創立。2004年より川崎市のフランチャイズ・オーケストラ。                                                                                           |
| 【指揮者】           | ジョナサン・ノット(音楽監督)、原田慶太楼(正指揮者 ※2021年4月より)、秋山和慶、ユベール・スダーン(以上、桂冠指揮者)、大友直人(名誉客演指揮者)、飯森範親(特別客演指揮者)、アルヴィド・ヤンソンス、上田仁、遠山信二(以上、永久名誉指揮者) |
| 【楽団員数】          | 86名                                                                                                                          |
| 【ホーム・コンサート・ホール】 | ミュゼザ川崎シンフォニーホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホール、新潟市民芸術文化会館、オリンパスホール八王子                                                             |
| 【楽団ウェブサイト】      | http://tokyosymphony.jp                                                                                                      |



Jonathan Nott, Music Director

Festa Summer MUZA Kawasaki 2020

# フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2020

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

サマーミュージザは全公演ライブ配信を実施しております。客席内と舞台上に映像収録カメラが入りますので、予めご了承ください。

## 東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

**ベートーヴェン生誕250年** 秋山和慶の「田園」&「運命」

7/30<sup>木</sup>

- **プレートーク**  
14:20～14:40  
話=秋山和慶  
奥田佳道  
(音楽評論家)  
※本公演と同じお席でお楽しみください。
- **開演**  
15:00
- **終演予定**  
17:00

**曲目** **ベートーヴェン:交響曲第6番 ヘ長調 作品68「田園」** (40分)

Beethoven: Symphony No. 6 in F major, Op. 68, "Pastoral"

- 第1楽章 「田舎に到着したときの愉快な気分を目覚め」ーアレグロ・マ・ノン・トロッポ
- 第2楽章 「小川のほとりの情景」ーアンダンテ・モルト・モッソ
- 第3楽章 「田舎の人々の楽しい集い」ーアレグロ
- 第4楽章 「雷雨、嵐」ーアレグロ
- 第5楽章 「羊飼いの歌 嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」ーアレグレット

ー休憩(20分)ー

**ベートーヴェン:交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」** (35分)

Beethoven: Symphony No. 5 in c minor, Op. 67

- 第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ
- 第2楽章 アンダンテ・コン・モート
- 第3楽章 アレグロ
- 第4楽章 アレグロ ー プレスト

※演奏時間は目安です。

## 出演

指揮: **秋山和慶**(桂冠指揮者)

コンサートマスター: **グレブ・ニキティン**(コンサートマスター)

※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

### ⚠️ 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ご協力をお願いいたします。

#### 【お客様へのお願い】

- ※マスク着用、手指消毒にご協力ください。
- ※終演後は、スタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いている扉から混雑を避けてお帰り下さい。
- ※出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ※万一、クラスター(感染集団)の発生が明らかになった際、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

#### 【館内設備について】

- ※クローク、ドリンクコーナー、ショップの営業はございません。
- ※冷水器の使用は停止しております。
- ※換気のため、通常よりも空調を強めにしております。また、隣席を空けているため、普段よりも寒く感じる場合がございます。(ブランケットの貸し出しは中止しております)
- ※アンコール曲は公演後、当ホールホームページに掲載いたします。

### ご登録をお願いします

神奈川県 LINE コロナお知らせシステム

会場内に掲示しているQRコードを読み取ってください。新型コロナウイルスに感染された方が発生した際、保健所の調査上必要と判断された場合にLINEメッセージが届きます。

※来場日ごとに、QRコードの読み取りをお願いします。

### ホール内は小さな音でもよく響きますので、ご協力をお願いいたします



演奏中の入退場はご遠慮ください。



全席指定の公演です。ご自分のお席でお聴きください。



ホール内客席では携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器の電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



許可のない写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。



鈴のついたアクセサリ、お荷物などは演奏中に音が出ないよう、十分ご注意ください。また、アメの包み紙を開ける音にもご注意ください。



ホール内での飲食はご遠慮ください。



※曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから、拍手をお送りください。



【補聴器をお使いの皆さまへ】  
補聴器が正しく装着されていることをご確認くださいませよう、お願いいたします。

|                                                                                                                                        |                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>●感動をもう一度！アーカイブ配信で<br/>本日の演奏をお楽しみいただけます。 1公演 1,000円<br/>配信期間:公演翌日12:00～8/31(月) 23:59<br/>https://tiget.net/tours/summermuza2020/</p> | <p>●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージザ ONLINE!<br/>●アンケート ●パートナーショップ特典<br/>はこちらの特設サイトより</p> <p>https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| ミュゼザ川崎シンフォニーホール ホールスポンサー                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                    | ミュゼザ川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。                                                                                                                     |                                                                                                                                                               |                                                                                 |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <b>【法人】</b><br><b>【特別賛助会員】</b><br>有限会社エムシーエス・デザインズ<br>神奈川臨海鉄道株式会社<br>川崎アゼリア株式会社<br>公益社団法人川崎市医師会<br>川崎信用金庫<br>川崎フロンターレ<br>キヤノン株式会社<br>サントリーホールディングス株式会社<br>大本山川崎大師平間寺<br>三井不動産グループ<br>株式会社ヨドバシカメラ<br><br><b>【賛助会員】</b><br>税理士法人あおぞら会計<br>味の素株式会社 川崎事業所<br>アルファクス株式会社<br>株式会社イープラス<br>ENEOS 株式会社 | 東洋ロザイ株式会社<br>日本薬機株式会社<br>びあ株式会社<br>富士電機株式会社<br>ホテルメトロポリタン 川崎<br>株式会社ムーブエイト<br>ヤマハサウンドシステム株式会社<br><br>*<br>大宮町内会<br>共奏・ドリームフィルハーモニーオーケストラ<br>遊園電子工房 | <b>【個人】</b><br>阿部 孝夫<br>磯野 和久<br>市橋信一郎<br>井上 敏昭<br>遠藤 智和<br>大木志乃生<br>大越麻美子<br>大塚 具幸<br>小笠原 将<br>岡野 功<br>小野 洋彰<br>金山 直樹<br>喜多 紘一<br>久住 映子<br>小菅みつほ<br>後藤 実<br>小林 知子 | 斉藤 隆徳<br>佐藤 亨<br>佐藤 晴茂<br>鈴木 徹<br>関口 浩・三代子<br>高橋 美子<br>竹内 啓介<br>都築 豊<br>中村紀美子<br>西山 英昭<br>橋本泰み子<br>長谷川喜代江<br>林 直人<br>平野 信子<br>廣瀬 治昇<br>前田 泉<br>松本 武巳<br>山内 利夫 | 山下 啓史<br>山田 昌克<br>N. A<br><br>他匿名6名<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>他1法人 | 敬称略五十音順 |

(2020年7月1日現在)



MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

音楽のまちかわさき

主催：川崎市、ミュゼザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）  
後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、OTTAVA  
助成：大規模文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会  
映像・音響制作：YouClassics  
協力：株式会社東京MDE、エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社

# 「傑作の森」の住人ベートーヴェン！自然を愛し、自由を愛し尽くした、

## ●野原を彷徨って得た崇高な楽想

無類の散歩好きだったルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）は、同時に田園に広がる自然もこよなく愛した。ウィーン郊外をとめどもなく散歩しながら作曲に没頭する姿をよく目撃されたい。夏には、田園を求めてハイリゲンシュタットに部屋を借りて過ごすのが常だった。そこは、難聴に悩み、1802年32歳の時に「ハイリゲンシュタットの遺書」を書いたことでも知られる地だ。だが、その遺書は、彼の内に燃えたぎる生や音楽への炎を自らに思い知らせることとなり、作曲家としての決意表明ともなった。

## ●自然の中に居る喜びの描写、それが交響曲第6番「田園」

そんな彼の**交響曲第6番「田園」**は1808年の夏ごろ完成したらしいが、無論、ベートーヴェンお気に入りの地、ハイリゲンシュタットでのことだ。こうして作曲された交響曲第6番は、彼の交響曲で唯一「田園」と自ら名付けられた。5楽章から成り、それぞれの楽章にも「田舎に到着したときの愉快的気分の目覚め」「小川のほとりの情景」「田舎の人々の楽しい集い」「雷雨、嵐」、そして「羊飼いの歌 嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」と、彼自身によって記されている。だが、それは決して、ただ自然を音楽で描写したものではない。楽譜にやはり自らの手で「田園交響曲、あるいは田舎の生活の思い出。音画というよりも感情の表出」と記されていたように、自然に触れた時にふつつつと沸き起こる人間の自然への喜びや感謝、いわば憧憬といった感情を音楽によって描写したものなのである。

また、通常は4楽章であるところを5楽章という構成にし、その第3、4、5楽章を続けて演奏すること、破格であった。

1808年12月22日、アン・デア・ウィーン劇場において、ベートーヴェン自らの指揮により、交響曲第5番、ピアノ協奏曲第4番、合唱幻想曲と共に初演された。この時、この第6番は第5番、第5番が第6番となっていたらしいが、1809年に出版されたパート譜には現在の番号になっていたという。

## ●ダダダダーンは不滅のノック

冒頭の、ダダダダーンという俗にいう「運命の動機」の音を耳にするだけで、大抵の人は曲名がわかるのではないだろうか。**交響曲第5番「運命」**は、クラシック音楽の中でも人気の高い筆頭作品だろう。シューマンは「何度聴いても畏敬と驚嘆が新たになる」「この交響曲は世界の音楽が続く限り、幾世代も残るだろう」と述べたという。つまり、シューマンお墨付きのクラシック中のクラシックであり、実際、その通りだ。

それを証明するかのように、この作品は、例えば冒頭の短いテーマを念入りに積み上げていく職人芸を見せ、ベートーヴェンの交響曲の中でも最も緻密に計算されて構成されたものと言っていい。さらに、ベートーヴェンの「苦しみを通して、歓喜に至れ」というモットー、人生哲学が再現されていて、「暗黒から光明へ」という主題が貫かれた、冒頭から終楽章までを聴いたものは、自ずと勇気が湧いてくる、鼓舞されるような気分になるのではないだろうか。

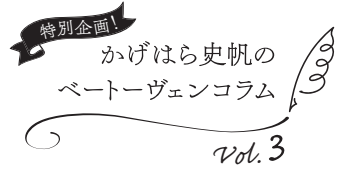
## ●第5番はロック魂みなぎるベートーヴェンの生き様そのもの

確かに、ベートーヴェンの運命そのものが表出するような激しい音楽だが、「運命」というタイトルは後付けのもの。彼の弟子シンドラーが冒頭のダダダダーンの意味をベートーヴェンに訊ねると、「運命はこのように扉を叩く」と師は答えたというまことしやかな伝説から、「運命」と呼ばれているが、真偽のほどは不明だ。特に日本でそう呼ばれるが、確かにぴったりの命名なような気がする。

史上初めて交響曲にピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンが使われたことでも知られ、後世の作曲家に与えた影響はこの点でも、多大だ。その人生で「暗黒から歓喜へ」を実践してみせた、ベートーヴェンのロック魂みなぎる作品だろう。

初演はベートーヴェン自らの指揮によって、交響曲第5番と第6番、そしてピアノ協奏曲などが一緒に演奏され、コンサートは4時間以上もかかった。交響曲第5番の終楽章では、ピッコロ、コントラファゴット、トロンボーンが加わり、大交響曲となったが、明らかに練習不足。その上、ホールはとても寒く、少ない聴衆は我慢を強いられ、初演は失敗に終わったという。しかし、その後の再演では成功を収め、今日に至るのである。ここでも、「暗黒から歓喜へ」が実践された。

## ■フリーランス音楽家をやめようとしたベートーヴェン



『田園』『運命』が初演された1808年。  
38歳のベートーヴェンは、フリーランス音楽家をやめようかと考えていました。

実はこの2つの交響曲の初演の裏で、ベートーヴェンはあるオファーを受けていました。ナポレオンの弟ジェロームが王座についている「ヴェストファーレン王国」の宮廷楽長への就任の誘いでした。

「ベートーヴェンは王侯貴族を嫌ったゆえにフリーランス音楽家の道を選んだ」——多くのベートーヴェン伝にはそんな説明が書いてあります。しかしこれは結果論にすぎません。安定した音楽環境を求めるのは、プロのミュージシャンとして当然のこと。宮廷から声がかかって、ベートーヴェンの胸はおどったに違いありません。

そんな折に行われた『田園』と『運命』の初演は、練習不足や暖房設備の不備がたたって大不評。聴衆からブーイングを浴びる羽目に陥ります。ウィーンから離れ、宮廷楽長として新しい音楽生活を始めたいという思いは、この初演を経ていっそう強くなったことでしょう。

しかし、ベートーヴェンを引き止めた人たちがいました。それは若い頃から彼を見守ってきたウィーン在住のパトロンたち。翌1809年初頭には相次いで年俸の支給が決まり、彼は宮廷からの誘いを蹴る決断をしました。もし彼が宮廷楽長の道を選んでいたら——のちに書かれた『第九』をはじめとする数々の作品は、世に生まれなかったかもしれません。

(かげはら史帆／ライター)